

# 環境に係る情報協議会

## 国営緊急農地再編整備事業 岩見沢北村地区

### 1. 事業の概要(案)

#### 《事業の目的》

本地区は、北海道岩見沢市に位置し、石狩川左岸の低平地に拓けた水田農業地帯であり、水稻を中心に小麦、大豆等のほか、はくさい等の野菜類を組み合わせた営農が営まれている。

本地区は、小区画及び排水不良なほ場が多く、離農跡地の継承等による耕地の分散化、泥炭土壌に起因した排水不良などが生じ、効率的な農作業の妨げとなっており、今後、耕作放棄地が発生するおそれがある。

このため、区画整理を行い、ほ場区画の大型化や担い手への農地集積を促進し、生産効率の向上と優良農地の確保を図ることを目的としている。

《受益面積》 1,400ha(水田1,400ha)

《主要工事計画(案)》 区画整理  
・整地工、暗渠排水工、客土工、用排水路工

### 2. 環境に対する考え方

(「岩見沢市田園環境整備マスタープラン」より)

#### 《農村環境の現状と課題》

##### 【現状】

岩見沢市は、中央部に市街地があり、東部の夕張山地と連なる山地から、西部の石狩川左岸に広がる低平地にいたるまで、多様な自然に恵まれているため、そこに生息する動物や植物の種類も豊富である。また、西部の低地帯には多くの湖沼が見られ、魚類をはじめ底生動物も豊かである。

##### 【課題】

山地から湖沼に至る恵まれた自然環境とそこに生息する多様な生物を総合的に保全するため、自然環境に配慮した整備が必要であるとともに、美しい景観を保全するため、環境に配慮した整備が必要である。

#### 《環境保全の基本的考え方》

○山地から湖沼に至る恵まれた自然環境とそこに生息する多様な生物を総合的に保全するため、自然環境に配慮した整備を行う。

○生産性の向上を図り、地域農業を担う農業者の確保、環境にやさしい農業を推進するとともに、美しい景観を保全するため、環境に配慮した整備を行う。

### 3. 環境配慮のための環境調査

#### 《基本方針》

事業により想定される、農地周辺の動植物や水質に対する影響を回避・軽減し、生態系への配慮を進めるため下記の方針により調査を実施する。

○動植物の生息・生育状況を把握するため、農地に隣接する河川等や湖沼の現地調査を実施し、得られた結果を整理・分析する。

○工事実施中における水質への影響の有無を確認するために、工事実施前のデータ収集として、地区内を流下する河川等や湖沼で水質調査を実施する。

#### 《環境調査内容》

○調査項目	①ほ乳類 ②鳥類 ③魚類 ④両生・は虫類 ⑤昆虫類 ⑥底生動物 ⑦植物 ⑧水質
○調査方法	ほ乳類 ・ 目撃法、フィールドサイン法 鳥類 ・ ラインセンサス法、定点観察法 魚類 ・ 採捕調査 両生・は虫類 ・ 目撃法 昆虫類 ・ 任意採集法、ベイトトラップ法 底生動物 ・ 定性採集法 植物 ・ 植物相調査 水質 ・ 濁度、SS